

日本海ガス株式会社
2025年12月25日

原料費調整（スライド）制度に基づく 2026年2月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただくことになりましたので、お知らせいたします。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026年2月検針分に適用される従量料金単価を、2026年1月検針分に適用される従量料金単価に対し、1m³あたりー18円26銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21m³）の場合、ガス料金は月額6,295円（税込）となり、383円（5.74%）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2025年9月～2025年11月のLNG、プロパンの平均原料価格を2025年9月～10月の貿易統計確報値、2025年11月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は82,660円/tとなります。2026年1月検針分のガス料金調整額を算定した2025年8月～10月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2025年9月～11月の実績平均原料価格は、トンあたり260円下降することになります。また、政府の支援により 18.0 円/m³（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

●2026年2月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026年1月検針分の従量料金単価に対して、-18.26円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価(1m³あたり)	
			2026年2月	2026年1月
A	0 m³から 10 m³まで	1,215.61円	266.94円	285.20円
B	10 m³を超える 170 m³まで	1,694.11円	219.09円	237.35円
C	170 m³を超える 500 m³まで	10,576.83円	166.84円	185.10円
D	500 m³を超える	12,721.83円	162.55円	180.81円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2026年2月の従量料金単価は、政府の支援により18.0円/m³(税込)が値引きされています。

●2026年2月検針分 お客様への影響額

標準家庭(1か月のご使用量が21m³)の場合

2026年2月適用料金 (a)	2026年1月適用料金 (b)	増減(c) (a)-(b)	増減率 (c)/(b)
6,295円	6,678円	-383円	-5.74%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年~2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格(円/t)および従量料金単価調整額(円/m³)

	2025.9~2025.11	2025.8~2025.10	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	82,650	82,880	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	76,410	77,640	95,050
平均原料価格(LNG換算)	82,660	82,920	97,170

■2025年9月~2025年11月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 82,650 \text{円/t} \times 0.9788 + 76,410 \text{円/t} \times 0.0231 \\
 &= 82,662.891 \text{円/t} \text{ (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{82,660 \text{円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 82,660 \text{円/t} - 97,170 \text{円/t} \\
 &= -14,510 \text{円/t} \text{ (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{-14,500 \text{円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= [\text{原料価格変動額}/100 \text{円} \times 0.080 \times (1+\text{消費税率})] - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{-14,500 \text{円}/100 \text{円} \times 0.080 \times 1.1\} - \underline{18.0 \text{円}} \\
 &= -30.76 \\
 &= \underline{\underline{-30.76 \text{円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、18.0円/m³(税込)が値引きされています。

	2026年2月	2026年1月	増減
調整額(円/m³・税込)	-30.76	-12.50	-18.26

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL : 076-442-5020